

かいじゅう通信



Vol. 33

海田住民活動ネットワークに加入した団体の情報をお知らせします。

海田住民活動ネットワークは、まちづくりを行う団体などがつながり合うことで、お互いに助け合いながら活動できる環境づくりをめざしています。

第3回海田市祭り ～かいじゅうネット事業～

イベントスタッフボランティア募集！

日 時◆3月29日(日) 10時～15時
「住民手作りの祭り」を海田住民活動ネットワーク主催で行います。皆さんのパワーを祭りで発揮しましょう。
祭りを盛り上げるボランティアを募集します。
申し込み◆電話で住所、名前、年齢、電話番号をかいじゅうネット☎090-4101-1533まで

西国街道・海田市ガイドの会

県が、特色ある地域振興に取り組む団体に贈る2014年度の「いきいき地域づくり賞」に西国街道・海田市ガイドの会が選ばれ、表彰されました。



海田町公衆衛生推進協議会 ■緑のカーテン栽培講習会

「緑のカーテン」を作ってみませんか？ベランダでも栽培可能で、夏の日差しを遮り、省エネにもなる「緑のカーテン」栽培講習会を開催します。

日 時◆3月14日(土) 10時～12時

場 所◆海田総合公園

定 員◆30名(先着順)

参加費◆無料

申し込み◆2月27日(金)

までに電話で海田町公衆衛生推進協議会事務局(☎823-8503)へ

※土いじりのできる服装で参加してください。



西国街道・海田市ガイドツアー

江戸時代の主要道路、西国街道(役場の前の通り) かいわいを散策しませんか

日 程◆2月28日(土)

集 合◆13時までにJ.R海田市駅北口へ

行 程◆約2時間半 参加料◆100円

申し込み◆20日(金)までに企画課(☎823-9212)へ(先着10人)

※5人以上の団体であれば、希望の日程でガイドができますので、ご相談ください。

海田町自治会連合会・海田町防犯組合連合会

「安全なコミュニティづくり講演会」

平成26年8月豪雨による広島市の土砂災害では、甚大な被害が発生しました。この災害の教訓として、まさかの時のために事前に準備しておく事、災害が起きそうな場合・起きた場合の対応について、次のとおり講演会を開催します。安全・安心なまちづくりについて一緒に考えてみませんか。

日 時◆2月14日(土) 10時～12時 場 所◆ひまわりプラザ4階ホール

内 容◆講演「ゲリラ豪雨・大規模土砂災害から身を守るために」
～まさかの時のための事前の準備と災害時の対応～

講 師◆減災塾 塾長 籠田純士氏(海田町在住)

もういいかい 火を消すまでは まあだだよ 消防出初式

先月11日、海田小学校で消防出初式を開催しました。

まず、海田鼓童子 WADAIKO 凛華による厳粛で華やかな和太鼓演奏で、出初式の開式を盛り上げました。その後、町消防団と少年消防クラブによる分列行進が行われ、緊張感のある整然とした動作は、観客の注目を集めました。また、陸上自衛隊第13音楽隊による盛大な演奏は、出初式に華を添えました。

式辞で、山岡町長は、「地域や関係機関、町の三者が一致協力して防災対策に取り組むことが重要」と呼びかけました。また、広島市消防局はしご乗り同好会によるはしご乗りの妙技や、町消防団による小型動力ポンプ操法のほか、安芸消防署と町消防団による合同公開訓練も披露され、火災や災害のない安全安心な一年を誓いました。



▲はしご乗り演技

消防団員表彰(敬称略)

【県消防協会表彰】

勤続章(25年以上) 1名

第3分団第3部 班長 掛谷直行

勤続章(20年以上) 4名

第2分団本部 副分団長 上本秀貴

第2分団第4部 部長 住田 修

第2分団第3部 団員 門包邦克

第2分団第2部 団員 正田誠二

勤続章(15年以上) 1名

第2分団第1部 団員 寺畠文男

【海田町長表彰】

優良団員(10年表彰) 5名

第3分団第1部 団員 松野泰治

第3分団第1部 団員 山口秀文

第2分団第2部 団員 河野英志

第2分団第4部 団員 久保誠二

第3分団第1部 団員 鍛冶屋 宏好

優良団員(5年表彰) 3名

第2分団第3部 団員 實久正則

第1分団第2部 団員 河埜雄二

第3分団第2部 団員 竹友将典



▲町内4保育所の園児の皆さんが大きな声で火の用心！



▲合同公開訓練



▲海田鼓童子 WADAIKO 凛華による演奏



▲少年消防クラブの消火器操法



▲フィナーレを飾る一斉放水

地域活性化を考える

講演会&パネルディスカッション

先月17日、広島安芸商工会海田支所主催の地域活性化セミナー講演会&パネルディスカッションが開催されました。

講師の宮島観光協会 中村会長には、宮島の歴史や現状などについて語っていただく中で、人とつながり合うことの大切さなど、地域活性化を推進していくためのヒントをいただきました。

また、パネルディスカッションでは、観光地とは違う「自然」や「人」、「ものづくりの町」など、海田町ならではの「宝」を磨きながら魅力を発信していくことが必要なのではないかななどの意見が出されました。

